

令和5年度第5回「北九州市健康づくり懇話会」議事録

1 開催日時

令和6年1月29日(月) 18:30~19:15

2 開催場所

北九州市総合保健福祉センター(アシスト21) 2階講堂

3 出席者等

(1) 構成員

池本構成員、◎伊藤構成員、小畑構成員、河野構成員、木庭構成員、筒井構成員、永田構成員、永野構成員、長濱構成員、濱寄構成員、平川構成員、藤野構成員、古市構成員、松木構成員
(50音順・敬称略、◎:座長)

(2) 事務局

保健福祉局、総務局、子ども家庭局、教育委員会

4 懇話会内容

(1) 開会

(2) 議題

① 確認事項

② 次期プラン素案の市民意見提出手続き(パブリックコメント)結果について(最終案)

(3) その他

(4) 保健福祉局長挨拶

(5) 閉会

5 懇話会経過及び発言内容

(1) 開会

【事務局】

本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。ただいまから第5回北九州市健康づくり懇話会を開催いたします。私は事務局健康推進課健康づくり担当係長の久保でございます。よろしくお願いいたします。

なお、本日、小嶋構成員、山下構成員がご欠席です。また、永野構成員は到着が遅れておりますがご出席されます。本日出席の市幹部職員は名簿のとおりです。どうぞよろしくお願いいたします。

当懇話会は原則として公開させていただきます。また、会議録はホームページに掲載させていただきますのでご了承願います。

それでは、会議の進行につきましては、伊藤座長にお願いしたいと思います。伊藤座長よろしくお願いいたします。

(2)議題

①確認事項 及び

②次期プラン素案の市民意見提出手続き(パブリックコメント)結果について(最終案) について

【伊藤構成員(座長)】

皆さん、こんばんは。いよいよこの懇話会、最後の会となりました。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。それでは早速、議事を進めて参りたいと思います。議題①確認事項と議題②次期プラン素案の市民意見提出手続き(パブリックコメント)結果についてです。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それではご説明させていただきます。

初めに資料1 第4回「北九州市健康づくり懇話会」議事要旨をご覧ください。

第4回の健康づくり懇話会の議事要旨となっております。今回は次期プランの素案につきましてご意見をいただきました。歯科口腔保健に関するご意見やがん検診に関するご意見、スローガンに関するご意見等をいただいております。懇話会の中でいただいたご意見をふまえて、修正を加えた素案についてパブリックコメントを実施いたしました。

資料2-1 市民意見募集の実施結果をご覧ください。

次期健康づくり推進プラン素案に対する市民意見の募集結果についてご説明いたします。

昨年12月20日から今年1月19日までの1カ月間、パブリックコメントを実施いたしました。その結果、20人の方から46件の意見を提出していただいております。

意見の内訳といたしましては、「計画の目標と施策に関するもの」が28件と最も多くなっており、その中でも、「社会環境の質の向上に関するもの」が15件となっております。

意見の反映状況といたしましては、「今後の参考とするもの」が33件と最も多く、次いで、「すでに掲載済み」が7件、「追加・修正」が4件、「追加・修正なし」が2件となっております。

資料2-2 素案に対する市民意見の概要と本市の考え方をご覧ください。

いただきました市民意見46件につきまして、概要を掲載しております。計画に対する賛意や共感を示すご意見や、今後の進め方に対するご意見、追加に修正を求めるとご意見などがございました。

それぞれの意見に対する本市の考え方と、プランへの反映結果を表の右側の方に掲載しております。

この中で、右端の反映結果が、「②プランに追加修正あり」になっているものについて、個別にご説明をさせていただきます。

資料2-3 素案からの修正内容をご覧ください。

修正の一つ目は、文化芸術基本法のとおり本プランにおいても、芸術を含む幅広い文化という文脈である場合は、「文化芸術」の方に統一した方がよいというご意見を受けまして、本編の2ページの健康づくりの関連施策のところで、「文化」という言葉が出てきておりますので、こちらの方、「文化芸術」と修正をしております。

二つ目のご意見は、健康課題に高血圧の「自分の血圧を知り…」というのであれば、その方法について明記して欲しいというご意見をいただきました。様々な方法があると思いますが、まずは健康診査の場も含め

て、様々な血圧を測る機会を通じて、自身の血圧をしていただきたいと考えておりますので、本編 22 ページにその記述を追加しております。

次に三つ目のご意見です。3つの健康課題に対する市民の行動目標について、年代別に示されていて分かりやすいが、「高齢世代の認知症予防と介護予防」は3つの健康課題に入っていなかったため、その前に説明があると理解しやすいと思ったというご意見をいただいております。ご意見反映し、高齢世代の認知症予防介護予防に関する説明の記述を、本文中に追加するとともに、行動目標の表についても、太枠で囲ってあるところを修正しました。

続いて四つ目のご意見になります。

生活習慣病の発症予防及び重症化予防のさらなる推進に、各種健(検)診の機会がございますが、北九州市は後期高齢者が増えてきており、後期高齢者健診も入れて欲しい、また基本目標の3のライフコースアプローチをふまえた健康づくりの高齢者のところにも、後期高齢者健診を入れた方がよいのではないかとご意見をいただいております。後期高齢者健診の受診勧奨と保健指導につきましては、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の中で実施しているところになります。ご意見をふまえまして、基本目標の3、ライフコースアプローチの主な取組みの欄に、後期高齢者健診の受診勧奨及び保健指導の実施を追加しております。

パブリックコメントを受けての修正は以上となっております。

次に、「大目標 健康寿命の目標値の記載について」の資料をご覧ください。

大目標につきましては、市の基本構想・基本計画に合わせまして、計画終了後の令和12年度に成果確認を行うこととしております。その時点での最新値として、令和10年値の健康寿命で成果確認を行います。これを受けまして、計画の目標値、目標年度を令和7年としておりましたところ、令和10年にいたしました。また、目標値を「男性プラス4歳、女性プラス2歳延伸」としておりましたところを、「男性76年、女性77年」と目標値をわかりやすく、具体的な数値を記載することとしております。

以上のとおり、パブリックコメント等のご意見をふまえまして、素案を修正し、最終案として資料2-4 第三次北九州市健康づくり推進プラン(最終案)概要版と資料2-5 第三次北九州市健康づくり推進プラン(最終案)を作成しております。

概要版の表紙をご覧ください。健康づくり推進プランのロゴマークを掲載しております。こちらのマークはプランの基本理念を端的に表したものとなっております。こちらを計画の冊子やその他チラシやポスター等の広報物に掲載することによって、プランの周知や、市民の健康意識の向上を図りたいと考えております。

また、最終案の冊子の56ページからの参考資料をご覧ください。健康寿命につきましては目標値を先ほどのご説明のとおり修正をしております。また、その他の指標で新たに他の計画の目標値が設定されたものや、国の統計数値が公表されたものにつきましては、反映しているところとなっております。

また、資料の追加としてございました関連事業の一覧につきましては、計画書の中には掲載いたしませんけれども、URLを冊子の中に掲載をして、ホームページの方でご確認いただくようにしたいと考えております。パブリックコメントの結果及び最終案についてのご説明は以上となります。よろしく願いいたします。

【伊藤構成員(座長)】

ありがとうございました。ただいま事務局からご説明をいただきましたが、皆さまからご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

懇話会にて考えました部分と、市民意見の中で、修正すべき論点について等、説明がありました。

ご確認をいただいたということで、次期北九州市健康づくり推進プランにつきましては、これをもって本懇話会としての最終案としたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

【全構成員】

異議なし。

(3)その他

【伊藤構成員(座長)】

ありがとうございます。

今回が最後の懇話会ということになりますので、今後の取組みの方向性についてのご要望や感想等も含めて、各構成員の皆さまに一言ずつ、いただければと思います。

【池本構成員】

福岡県栄養士会の池本でございます。

今後の第三次健康づくり推進プランの最終案ができたということで、非常に良い内容になったかなと思います。栄養士会といたしましても北九州市では様々な各地域に分かれていろいろなイベント事がございまして、子どもから高齢者に至るまで、様々な場面で食と健康、それから口腔管理も含めて、さらに啓発を図っていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

【小畑構成員】

食生活改善推進協議会の小畑と申します。

私たちは子どもから高齢者まで食を通して健康づくりをさせていただいておりますので、高齢者ばかりではなくて、幼児からの取組みが一番大切かなと思っておりますので、少し幼児の方にも目を向けていただきたいのと、障害がある方にも目を向けていただくような健康づくりをしていただけたらなと思っております。

よろしく願いいたします。

【河野構成員】

北九州市医師会の河野でございます。

今回初めてこういうプランを作り上げる現場に携わらせていただきまして、感動すら覚える、本当にこういう素晴らしいものをこうやって作っていくのだからというのを初めて経験させていただいたことを本当に、感謝しております。

私たち臨床医としましては、それぞれの仕事を一生懸命やることもですけど、やはり健康寿命の延伸を他の医師も必ず頭に置いて、自己満足ではない本当にその方の健康寿命を延ばすことを考えて、日々診療をやっていくことが大切だとつくづく感じました。

また多職種の連携ということがとても大事なのかなというのを本当に感じております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

【木庭構成員】

健康づくり推進の会の木庭でございます。

私たちは、今までも、北九州市の健康づくり推進プランに沿って活動しています。来年から新たな健康づくり推進プランが出来上がるわけですが、お尋ねしたいのはこれ、私たちはもう2月の代表者会議から、次年度の私たちの柱となる事業計画を作っていくわけですが、このプランをその場でも出してもいいのでしょうか。それとも、まだ伏せておかないといけないのでしょうか。

【事務局】

本プランの最終案につきましては、この2月の初めに市議会の方にご報告をさせていただきまして、年度末に最終的な冊子を作っていくということになります。来年度からのプランということで、中身の方向性等については変わらないと思いますので、会議の中でこちらを参考にさせていただくのも構わないと思っております。よろしくお願いいたします。

【木庭構成員】

代表者会議で、その次年度の私たちの大きな目標を作っていかなきゃいけないので、このスローガンに沿って作っていきたいと思っています。そういうことで私たちの活動は、この市のスローガンに沿って、日頃市民センター等で活動しておりますので、これをまた大いに活かして、活動していきたくと思っています。

よろしくお願いいたします。

【筒井構成員】

福岡産業保健総合支援センターの筒井です。

この素晴らしい会に参加させていただきまして本当にありがとうございました。健康というのはやはり、先ほど子どもからってという話ありましたが、母子手帳から始まって、学童児の健診、そして、一番肝心な中高年の職域がスポッと抜けて、そしていきなり高齢者の方に行く。子どもや高齢者は行政が全部データを把握しているのですが、その職域のデータがすっぽり抜けているというのが、今後の大きな課題だと思いますので、その辺はですね職域だけでも解決できないし、行政だけでも解決できないので、やはり手を結びながらやっていけるように産業保健総合支援センターも協力していきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

【永田構成員】

全国健康保険協会の保険グループの永田と申します。

このような会で、大変勉強になりました。ありがとうございました。

目標値ですけれども、大変高い数字でちょっとびっくりしているところです。私どもは職域で、県内全体を見ているのですが、1%上げるために、あとどのぐらい健診を受けていただかないといけないか、健診が増えればその後の指導の対象者も増えますので分母も増えるということで、何人の方に受けていただかないといけないか等、なかなか対個人になると、市の方々もよくお分かりかと思うのですが、個人で希望される方って大変少なくいのが現状です。職域ですので、会社の方にやはり理解を求めていくべきというところが大変苦勞しているところです。

令和4年度の実績があつて、令和9年度までの目標がかなり高い数字になっていますので、各年いつ何%を目指すのかの目標を掲げてらっしゃると思いますが、私どもでも、共済健診をコラボでやらせていただいています、そこでも毎年実施率を上げるために、いろんな市町村と協力させていただいていますので、引き続きそちらも、特定保健指導まで一括してできるように協力してやっていきたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

【濱崎構成員】

九州女子大学の濱崎です。

今回は課題ということでオーラルヘルスが入っておりまして、また口腔保健との連携ということで、少しずつつではありますが、いい方向へ行っているのではないかなと思っております。

あと、就労世代が強化ターゲットということで、高校、大学、卒業してからの就労、いろんな場面で本人たちの課題を持つとかそういうところが、なかなか取組みが難しいなと思ったりしておりますので、この今回のこのようなプランというのを、まずは大学生にもしっかり周知していきたいと考えております。

どうもありがとうございました。

【永野構成員】

福岡県理学療法士会の永野と申します。

この度は貴重なプランの会議に参加させていただいて、また会議に参加する中で皆さまのご意見を拝聴できましたこと、大変勉強になりました。ありがとうございました。

実はこのプランを作成している途中から、理学療法士として運動を専門にしますので、そういった視点でプランの内容を見させていただく中で、一市民として、私だったらこのプランやこの事業は私に合うのかなとか、私だったらこれは対象になるのかなとか、そういった目線でもこのプランを一つ一つ読ませていただきました。その中でふと感じたことを最後に申し上げたいと思います。

なかなか市の取組みや事業としては、個性性というところはなかなか難しいのかなというふうには理解はしているつもりではあります。ただ、一方で網の目をどんどん細かくしていこうと思ったときに、いわゆる一人一人の特性に合わせた男性・女性などの性差だけではなくて、例えば高齢者であれば介護者と一緒に住んでいるのか、お1人なのか、もしくは、家族関係はどうなのか小さなことかもしれませんがどれもそういった個性性をどういうふうに拾っていくかということが大事なのかなと、感じました。

そうする中で私が感じたことですが、私だったらという思いの中でこの事業を見させていただいて、自分でカスタマイズできるようなものが、例えば50代の女性が働きながら、子ども3人育てていますので、子どもたちとどの様にこれから歩いていこうと思ったときに、こんなプランはどうでしょうみたいな基本プランみたいながあると、そこにオプションとして自分でつけていけるとたくさんある事業の中から一つ一つ選ぶのはなかなか難しいかなと思うので、モデル的なものを指し示していただければ、私はこれならできる、これは当てはまらないな、などの判断ができるのかなとちょっと感じましたので、最後に所感です。

今日はありがとうございました。

【長濱構成員】

北九州市立大学地域創生学群の長濱です。

私もこのような会議に参加すること自体が初めてで、1回1回資料が出されて、見て、やはり専門ではな

いのでわからなくて、毎回毎回驚いてばかりで、専門的なことも言えなかったかなと反省をしています。

自分たちは多分、立場的には、政策を出す側ではなくて、学生なので受け取る側だったので、会議に参加させていただく前と後だったら、北九州市の健康のことや自分自身の健康のことに目を向ける機会がすごく多くなったので、すごい勉強になりました。

自分は学生なので自分からみんなに向けて発信できないと思うのですが、自分や周りの人とかの健康に目を向けてこれからも頑張っていきたいなと思いました。ありがとうございます。

【平川構成員】

北九州市薬剤師会の平川と申します。

この会議に出させていただいて、広く市民の皆さんに公表できる健康づくりプランってどうやって作るのだろうと最初思っていました。なので、最終的にこういうのができることに、市の職員の皆さま方の力はすごいなと思っております。とても自分たちレベルでできるものではないなと感じております。この推進プランは非常に良くできているなと思います。

あと、一北九州市民として健康で生きていきたいと、もちろん思います。でもただそのためには、人口が減るっていうのは、その自治体として一番きついことですね、人口減ると、お金も減っちゃうから、健康づくりのプランにもお金かけられなくなる。そういうのがあるので、ぜひまたその機会があれば、そういった会議に出させていただくと嬉しいなと思っております。

どうもありがとうございました。

【藤野構成員】

産業医大の藤野です。

全方向に議論を重ねて、それを取りまとめていただいた関係者や市の皆さま方に敬意を表したいと思えます。本当にいろんなこと勉強させていただきました。

2つコメントさせていただきます。

一つは、私自身、公衆衛生の領域の研究者を25年ぐらいやっていますが、20年前だったらこれ全国ニュースになったと思うくらい、私にとってはすごく衝撃的な取組みが実現しています。一つは、フッ化物洗口です。1980年代からもうエビデンスは確立していますが、2000年の頃でさえ、日本の取組みは20年以上世界から遅れているって言われていた中で、今回サラッと計画の中に入っていることが、すごいことだなと思って見ておりました。

もう一つは、がん検診受診率を目標値に取り入れていただきありがとうございました。情報提供ですが、7万人ほどの企業さんで、ほとんどのがん検診を9割やっている企業さんのデータをいただきました。そうすると、いわゆる「5つのがん」と言われている、検診で予防可能な「胃がん」「肺がん」「大腸がん」「子宮がん」「乳がん」の死亡者数が毎年1名～2名です。一方で、白血病とか膵がんという、いわゆる検診で予防できないと言われている希少がんの死亡者が10名ぐらいですね。なので、やはり「5つのがん」はがん検診すれば防げますので、ぜひ技術的に予防できると言われているがん検診を推奨していただければと思います。以上です。ありがとうございました。

【古市構成員】

北九州市歯科医師会の古市でございます。

どうしても私たちは歯医者ですのお口の中のことを見るようなことばかり考えてしまうということが多い

わけですが、今回参加することによって、僕ら自身が知識の蛸壺の中に入ってしまったのはもう何も見えてこないということを実感できました。

今回の目標はですね目標値がかなり高いなというところなので目標達成に向けて一生懸命、啓蒙活動を頑張らなければいけないと思いを強くした次第でございます。本当にありがとうございました。

自然に健康になっていくっていう街をどうやって作るかというのが行政の役割ではないかと思っております。歩くことはやはり基本だと思えます。私は歯医者ですが、口の中の健康の状態を保つためには全身運動が欠かせないものだと思っています。口を閉じて、鼻からの呼吸を通じて深く身体を動かすということがお口の方に健康にも繋がります。その自然に歩き回る楽しい街。小倉城や八幡東区のアウトレットの周りには、たくさん歩いている方がいらっしやるわけです。人が集まって歩くことが楽しい街、自然に健康になれるまちづくりという点からも、広く市に頑張っていたいただきたい。

もう1つ、健康づくりということで、どうしても人間のことばかりに目が向いてしまいがちですが、最近ではワンヘルスという考え方で、自然環境も含めて健康に繋がるという概念が出てきました。例えばセラピードッグや地域猫です。ドッグランみたいなものがあると、自然に人が歩きます。各区の遊休の公園とかそういうところに各区ドッグランを作っていただくと、皆さん人が集まって歩き回るのではないかと考えた次第です。次のプランでぜひお考えいただければと思います。

歯医者ですが、あくまでも口の中だけでは健康はつくれません。ぜひ、今回のこの健康づくり懇話会の内容というのを持ち帰りまして、啓蒙活動をしていきたいと思えます。どうもありがとうございました。

【松木構成員】

市民構成員の松木でございます。

今、私が活動しているのは、まさに現場です。健康づくり推進員として地域の市民センターを拠点として、ウォーキングやニュースポーツの企画をしながら活動しています。私自身、歯科衛生士をやっておりまして、口腔機能やむし歯のことがとても大事なことが分かっていますが、コロナのおかげで、人と接しないマスク生活で高齢者のお口の機能はぐんぐん下がってきているのが現実ですね。お口の体操をしましょうと言ってもマスク越しではなかなかうまくいかない現実は、今も続いております。

北九州の健康課題のワースト3ということで、「オーラヘルス」、「高血圧」、「肥満」ですね、私もサロン活動の時に、自分の血圧計を持って行って測ったり、あるいは適正体重はこのくらいですよ、とみんなでわいわい言いながら活動しておりますが、私のやっていることは、間違いではないかなということが改めて感じられました。

古市先生がおっしゃったように、社会参加ってということがとても大事なので、ウォーキングの企画をすれば皆さん集まって来られる。だけど1人ではなかなか思い切って出て来られない。だから「みんなで誘って行きましょう」ということが市民センターや健康づくり推進員の課題だと思っておりますので、これからもめげずに頑張っていきたいと思えます。

こういう場を与えていただけてとても感謝しております。ありがとうございます。

【伊藤構成員(座長)】

最後に進行の担当させていただきました伊藤からご挨拶したいと思います。

この役をお受けするにあたって、できるだけここにいらっしやる構成員の皆さま方のご意見を反映できるような形で、議事進行を進めていきたいというご挨拶をさせていただきまして大変、協力的に出していただきましてありがとうございます。まだ言い切れてない方はいらっしやいませんか。

先ほど長濱構成員や松木構成員がおっしゃっていましたが、このお2人の意見が、非常に専門的な意見だけではなく、ちょっと踏みとどまって考えさせられる「僕は」「私は」こんなことを考えている、というご意見はとても大事ななと思っていて、この会の中で貴重な構成員であったと感謝しています。やはりこのような会議に、専門職だけの意見ではなくて、暮らしていらっしゃる皆さんの意見を直に聞くというのはとても大事ななというように感じています。

今回健康づくり推進プランのスローガンの中にあります言葉に、「すべての市民が最後まで自分らしく生きていくことを目指します」という、非常に大きな目標があります。

先ほど、北九州市の新ビジョンの計画の会議に参加してきました。そちらも最終案ができ上がったのですが、経済を動かすにも、やはりこの幸福感というか、自分たちが生きている価値というのが土台にないと、いろんな活動が起こらないと思います。ですので、この健康づくり推進プランを、目標値は高いけどもそれにどう近づけていくのかが、これから本腰を入れてやっていかないといけないところだと思いますので、構成員の皆さま方もぜひ、いろんな形でバックアップしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

本当にご協力ありがとうございました。

【事務局】

伊藤座長、構成員の皆様、5回にわたり貴重なご意見をいただきありがとうございました。本懇話会はこれもちまして終了となります。

最後に、保健福祉局長の武藤よりご挨拶申し上げます。

【保健福祉局長】

北九州市保健福祉局長の武藤でございます。

先ほどまでご議論いただきました。北九州市健康づくり懇話会が最終回ということでございますので、事務局を代表して一言ごあいさつを申し上げます。

まず、構成員の皆さまには、4月からこれまで5回にわたり幅広い分野の方々にお集まりいただきまして、それぞれのお立場から、日頃の活動や経験を通じた貴重なご意見、ご提言を、また活発なご議論を賜りました。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。特に伊藤座長におかれましては、多岐にわたる議論の取りまとめ、円滑な議論の会議の進行、ご尽力いただきましたことを深く感謝申し上げます。

ここに「第三次北九州市健康づくり推進プラン」(最終案)を今取りまとめることができました。先般実施いたしました、パブリックコメントでは、充実したプランだというご意見もいただいております。市が抱える健康課題につきまして、様々な角度からその解決に向けた今後、6年間の道筋をつけることができたと考えております。これも皆様方の力強いお力添えによるものと改めて感謝申し上げます。

今後は伊藤座長もおっしゃられましたとおり、新たなプランを力強く推進していかなければならないと考えております。「健康に生きる、笑って生きる。」を健康づくりのスローガンに、健康寿命の延伸を目指し、市内部局横断をもとより、地域職域の垣根を越えて、より実効性のある健康づくりの施策を展開して参りたいと考えております。皆様におかれましては、今後とも本市保健福祉行政につきまして、格別のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、まだ寒い日が続いております。皆さま方には、ご自愛の上、ますますのご活躍を祈念いたしまして、私のお礼のごあいさつとさせていただきます。本当にありがとうございました。

(3)閉会

【事務局】

武藤局長ありがとうございました。

では今後の予定ですが、2月8日に北九州市議会の常任委員会でパブリックコメントの結果と、このプランの最終案を報告いたします。この報告を受けて、最終的に第三次北九州市健康づくり推進プランが完成する運びとなります。その後、製本したものを皆様のお手元にお届けいたします。あわせて市のホームページ等にも掲載し、広く市民の方に周知を図って参ります。

なお、プラン完成の後、令和6年3月31日をもちまして、北九州市健康づくり懇話会が終了となります。

最後になりますが、本日の会議の議事録については公開することとなっております。後日、事務局で作成しまして、皆様にお渡しするとともに、市のホームページにも掲載させていただきますのでご了承ください。

その際ですが議事録の確認については座長にお願いしてもよろしいでしょうか。

【全構成員】

異議なし。

【事務局】

ご承認いただきありがとうございます。

それでは他に連絡事項やご意見がなければ、これで本会議を閉会といたしますがよろしいでしょうか。

では、これをもちまして、第5回「北九州市健康づくり懇話会」を閉会といたします。

お忙しい中、長い期間にわたりプラン策定にご尽力いただきましてありがとうございました。